

五十人山の動物

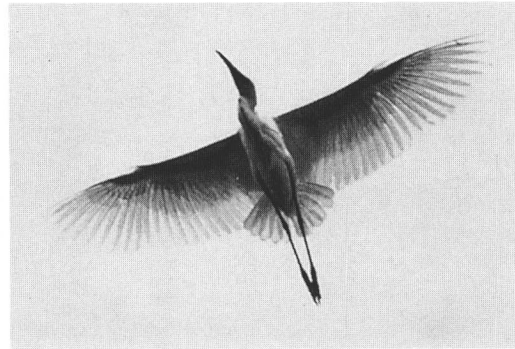
阿武隈山地には、福島県を貫いて南から北へ流れる阿武隈川を挟んで西に位置する奥羽・越後山脈に生息する大型哺乳類のツキノワグマやカモシカなどはみられず、ツキノワグマとは阿武隈川を境界としてすみわけるようにイノシシが生息している。イノシシは、西ノ内や湯ノ平などにも出没して、ジャガイモ畑などを荒らしたりするが、警戒心が強く姿を見せるのは極めてまれである。



コキクガシラコウモリ

野生のサルの生息地としては、相馬郡飯館村八木沢峠付近が知られているが、この群から離れたと思われるサルが日山を経て、昭和59年あたりから五十人山近辺でも頻繁に目撃されるようになってきている。

中型の哺乳類で多いのはノウサギで、林の中にはいたる所に糞がころがっている。このほかに生息しているものとしては、キツネ・タヌキ・イタチ・テン・ムササビ・アナグマなどがある。しかし、五十人山近辺よりは、周辺の山地でみかけることのほうが多い。たまに柿の木に登ってカキの実を食べてい



コ サ ギ